

愛知県総代幹部研修会開催される

本年度の総代幹部研修会が6月21日に愛知県教化常任委員会企画の下、熱田神宮会館において県神社庁(小串和夫庁長)・県神社総代会(水野耕太郎会長)の共催で開催されました。当日は悪天候にもかかわらず県内より139名の参加がありました。本年の研修内容は、今上陛下の御退位等で注目されているご皇室への更なる理解を深めることを趣旨として企画されました。



牧野武彦副庁長挨拶

熱田神宮を正式参拝後、開講式では小串庁長の名代として牧野武彦副庁長がご挨拶。「平素は神社庁の諸施策、特に神宮大麻頒布に関しまして、ご支援賜り、また各神社のご神意発揚にご尽力いただき、感謝申し上げます。現在、問題となっている少子化や過疎化対策は神社本庁にて検討されているところですが、子供を中心とした神事が行われている神社もあるか、今後間違いなく少子化が進むことが予測されるため、各社で対策を練られていただきたい。本日は宮中祭祀を中心とするお話、皇室典範時間の中であるが、本日参加される方々は県内1万人以上いる総代の代表、まさに幹部の方が参集いただいておりますので、研鑽いただき、ご伝達いただきたい」と挨拶されました。

引き続き県神社総代会副会長神尾俊治氏が「公私ご多忙の中、出席いただいたことを感謝申し上げます。本研修会は皇室を始め、神社神道について涵養を目的とするもので本研修会が実りあるものとなることを祈念する」とのご挨拶がありました。

午前の研修では「天皇のまつり宮中祭祀」と題して、國學院大學兼任講師であり、東京都立小岩高等学校主幹教諭の中澤伸弘氏が講演。氏は天皇陛下の核心は不断に続けられている「まつりごと」にあるとし、知られざる宮中祭祀の意義と内容、さらに御譲位に関連して宮中祭祀の現状と課題について丁寧にご講義いただきました。中澤氏は最後に「家庭の祭りも神社の祭りも皇室の祭り祈りという点では同じです。その点、総代各位もご理解いただき、奉仕を願いたい」と締めくりました。



中澤伸弘先生挨拶

次いで午後の講演は亀山神社禰宜の潮清史氏が「わたしたちの皇室」と題しての講演がありました。氏は元宮内庁章典職・東宮職を務めており、特殊な立場から皇室についての講演をいただいた。氏は天皇陛下のご活動として国事行為、公的行為、私的行為の3点から陛下の「祈り」が極めて高邁なものであること、さらに各国の元首や国王のあり方や世界のから見た皇室の立場等を丁寧に解説いただきました。講演後には参加者からの質疑応答がなされ、盛会のうちに講演が終了しました。

最後に受講者を代表して修了証が豊橋支部馬場勝彦氏に手渡され、三浦正典教化委員長からの総括があり、研修を終えました。



潮清史先生挨拶



終了証の授与